

Plants & Garden

2022年5月1日発行(季刊4回:2,5,8,11月の1日に発行)

プランツ & ガーデン

植物と園芸を学ぶ、
楽しむ専門誌

'22 Summer

No.193



特集

挿し木マスターになろう！

特集

サボテンの魅力と栽培の楽しみ方



数多く並び、体全体が貯水タンクをCO₂に戻して光合成を始めます。

▶「市場から遺伝子まで」をスローガンに、中部大学でサボテンを研究しています。



▲メキシコ・グアダハラ市のウチワサボテン畑。栽培されたウチワサボテンは野菜や家畜飼料として消費される。



▲同市のレストランで肉料理とともに供されるウチワサボテン。サボテンのぬめりは特に肉料理との相性が良く、メキシコのレストランではたいていサボテンが付け合わせとして出てくる。

サボテンはサボテン科の植物の総称で、多肉質の茎とトゲに変化した葉を持つことが特徴です。とはいってもサボテン科には約130属2千種を超える種が属するとされ、その形態はさまざまです。今回はそんなサボテンの魅力とその特徴を紹介いたします。皆様ぜひ育ててみてください。

特集

サボテンの魅力と栽培の楽しみ方

ほりべたかのり 堀部貴紀

▲アメリカ・アリゾナ州のソノラ砂漠にて、州のシンボルでもあるサワロサボテンと。西部劇でおなじみのこのハシラサボテンは、日本では弁慶柱(べんけいちゅう)の名前で出回る。

